

## 【要点】①文字の使用

### (1) 文字を使った式の表し方

#### 規則

①  $\times$ は省略し、文字は $\pi$ (パイ)を除き、アルファベット順に書く。

[例]  $2 \times a = 2a$ 、  $b \times c \times a = abc$

② 文字と数字の積では、数字は文字の前に書く。

ただし、数字が1のとき、1は省略する(0.1等は省略しない)。

[例]  $x \times (-3) \times y = -3xy$ 、  $1 \times h \times d = dh$

③ 同じ文字の積は、累乗の指数を用いて表す。

[例]  $y \times x \times x \times 4$ 、  $(-x) \times (-x) \times (-x)$   
 $= 4x^2y$   $= -x^3$

④  $\div$ は分数の形にする。

[例]  $a \div 7 = \frac{a}{7}$   $6 \div (x+y) = \frac{6}{x+y}$

(2) 式の値 ……… 式の中の文字に、数字を代入して計算した結果の値のこと。

負の数を代入するときは、必ず( )をつけて代入する。

[例1]  $x = -2$ のとき、 $x^2 - 3x$ の式の値を求めよ。

[解]  $x^2 - 3x$ の $x$ に、 $x = -2$ を代入、

$$\begin{aligned} & x^2 - 3x \\ & = (-2)^2 - 3 \times (-2) \quad \curvearrowright \text{必ず( )をつけて代入!} \\ & = 4 + 6 \\ & = \underline{10} \end{aligned}$$

[例2]  $x = -3$ 、 $y = 1$ のとき、 $2x - xy$ の値を求めよ。

[解]  $2x - xy$ にそれぞれ $x = -3$ 、 $y = 1$ を代入、

$$\begin{aligned} & 2x - xy \\ & = 2 \times (-3) - (-3) \times 1 \quad \curvearrowright \text{必ず( )をつけて代入!} \\ & = -6 - (-3) \\ & = -6 + 3 \\ & = \underline{-3} \end{aligned}$$